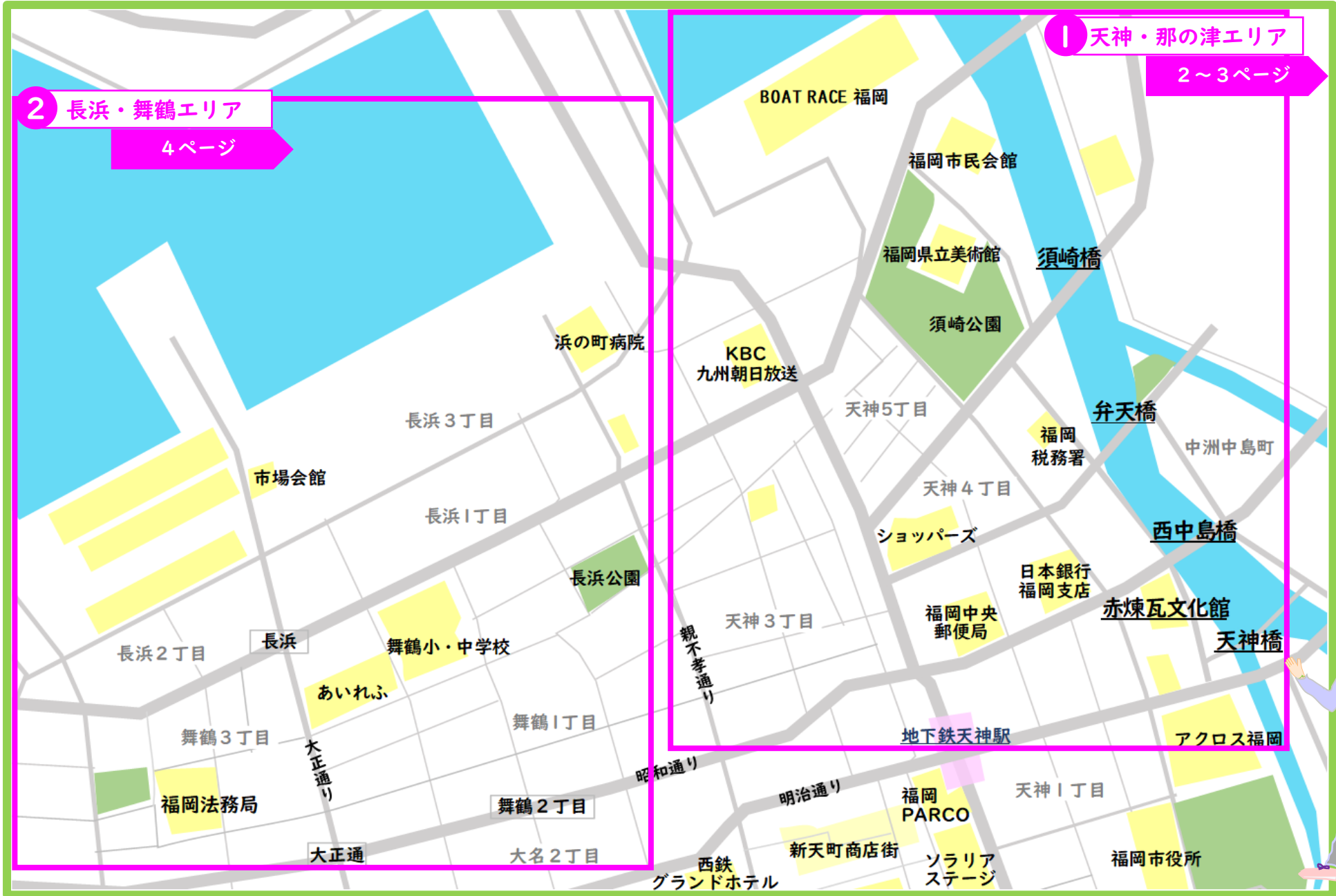


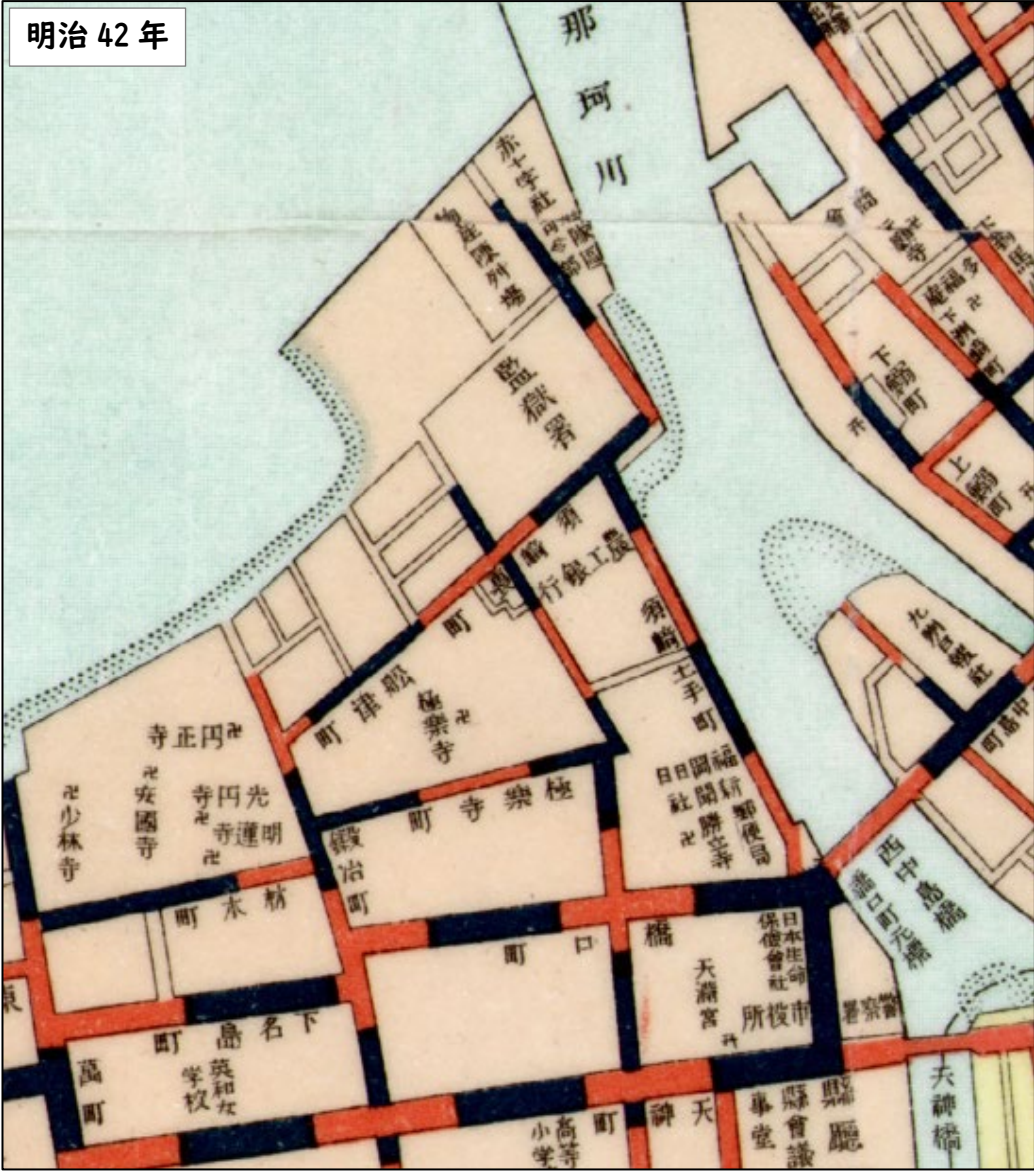


# 番外編ちょこっとおでかけマップ ～今と昔をくらべてみよう～ 天神・那の津、長浜・舞鶴エリア

明治42年の地図と現在の地図とを比較し紹介しています。現地を訪れ、時代の流れを感じてみてください。



1 天神・那の津エリア



赤十字社左側、地図の接合部は「物産陳列場」



明治42年の地図の須崎公園付近には、「赤十字社」や「物産陳列場」などの記載があります。

<sup>すさきばし</sup>  
須崎橋（旧洲崎橋）は地図発行の2年後の明治44年に市内電車のために架橋されました。

現在の橋は平成9年に架け替えられました。

橋を博多方面に渡り、すぐ右（地図上の★）に旧洲崎橋の親柱が保存されています。



須崎橋

須崎橋の南側にある<sup>べんてんばし</sup>  
弁天橋は昭和47年3月に竣工されました。



弁天橋

弁天橋の南側にある<sup>にしなかしまばし</sup>  
西中島橋は、17世紀初めに架橋されたと言われており、明治42年の地図にも記載があります。

福岡藩初代藩主の黒田長政が福岡城を築城する際に、城下と博多を結ぶため、橋を架けました。

なお、現在の橋は平成15年に架け替えられたものです。



西中島橋

<sup>あかれんが</sup>  
赤煉瓦文化館は、日本生命保険九州支店の社屋として明治42年に建てられ、昭和44年に重要文化財に指定されました。

英国式の外壁とアールヌーボー様式を取り入れた内装が特徴で、内部を見学することもできます。



赤煉瓦文化館

西中島橋の南側にある<sup>てんじんばし</sup>  
天神橋は、架橋された正確な時期は不明ですが、明治42年の地図に記載があります。

現在の橋は昭和56年に架け替えられたもので、橋の下には薬院新川が流れています。



天神橋

## 2 長浜・舞鶴エリア

明治42年の地図では、長浜全域は海が広がっており、その後埋め立てられ今の形状となっています。



明治42年の地図：福岡県立図書館デジタルライブラリ 地図タイトル：「福岡市街図里程附」  
りていふ

令和5年2月1日 作成・発行：福岡市中央区企画振興課